

西洋美術について調べる

目次

- 1 図書を調べる
 - (1) 「西洋美術」全般について知る
 - (2) 絵画・美術作品について知る
 - ア. 特定の作品について知る
 - イ. どのような作品があるか知る
 - (3) 芸術家について知る
- 2 雑誌を調べる
- 3 インターネット・データベースを調べる

ヨーロッパ旅行で美術館を訪ねると出会うことができる世界の名画、芸術作品。コロナ禍が終わり、旅行に出かける前に西洋美術について知っておくと観光だけとは違う、プレミアムなヨーロッパ旅行が楽しめます。

新しい芸術作品との出会い方を学びましょう。

キーワード例：

美術／絵画／画集／美術館／ルネッサンス／印象派／作品名（ひまわり、モナリザ）など／芸術家名・画家名（レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ゴッホ）など

アイコンの説明



参考図書



インターネット情報



図書



オンラインデータベース
図書館内でのみ利用可

1 図書を調べる

(1) 「西洋美術」全般について知る

西洋美術を鑑賞する上で基本的な知識を得ておくことで調べものがスムーズになります。また手がかりとなるキーワードが見つかるなど、調べものに役立つ情報がたくさん載っています。



『西洋美術解説事典—絵画・彫刻における主題と象徴 新装版』（ジェームズ・ホール／著 高階秀爾／監修 高橋達史／訳 高橋裕子／訳 太田泰人／訳 河出書房新社 2004年）中央図書館ほか所蔵

世界でもっとも人気の高い美術基礎事典。主題・人物・概念・象徴など、美術関係に出てくるキーワードや用語が掲載された決定版。



『西洋美術事典—ルネサンス以降絵画・彫刻—』（ピーター著／リンダ・マーリ／著 大島清次／[ほか]訳 美術出版社 1967年）大宮図書館所蔵

レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ・ブオナローティ、ラファエロ・サンティなど、ルネサンス期のイタリアを中心に活躍した芸術家たちを紹介している。



『オックスフォード西洋美術事典』（講談社 1989年）大宮西部図書館ほか所蔵

世界で最も権威ある1巻本美術事典！ 先史から現代まで、絵画・彫刻・建築・工芸など人間の「美」の営みを語りつくした本格派美術事典。西洋美術を主軸に、日本・朝鮮・中国を除く全世界の美術を展望。名著として定評のある『オックスフォード・コンパニオン・トゥー・アート』の翻訳に最新情報を加えて編集した。美術愛好家、実作者、研究者の必携書。総項目数3150。図版・写真1500点。

(2) 絵画・美術作品について知る

特定の絵画について調べたい場合には、「ア. 特定の作品について知る」にあるような索引から調べられる参考図書が便利です。

一方、こういった作品があるか概観したい場合には、「イ. どのような作品があるかを知る」のような美術作品集、画集から探すとういでしょう。

作者ごと、画集でまとめられている資料もあります。

ア. 特定の作品について知る



『名画を見る眼—カラー版—1』（高階秀爾／著 岩波書店 2023年） 大宮西部図書館ほか所蔵

本書は、西洋絵画の本質を一步進んで理解したいと欲する人々の願いに応じて執筆された西洋美術鑑賞の手引きである。隠された意図や意味を探りながら、15点の代表的名画を読み解いていく。第1巻は、ルネサンスから十九世紀まで。絵画を楽しむ基本をわかりやすく示すだけでなく、読むたびに新しい発見をもたらす一冊。



『ゴッホ名画巡礼』（世界文化ブックス 2021年） 春野図書館ほか所蔵

フィンセント・ファン・ゴッホは絵を描くことに人生を捧げた。27歳で画家こそ天職と定めて、突き進んだ10年間。短すぎる人生と作品の豊穡さ。今も賞讃と驚嘆とが集まるその画業。そんなゴッホの名画とともに、画家の歩んだ道をたどってみよう。オランダからフランスへ、所縁の地をめぐる行けば、青年フィンセントが「ゴッホという画家」になった、その「芸術誕生の謎」が解き明かされることだろう。

イ. どのような作品があるか知る



『イタリア・ルネサンス美女画集—巨匠たちが描いた「女性の時代」—』（池上英洋／監修 小学館 2014年） 中央図書館ほか所蔵

巨匠たちが追い求めた「理想の美女」の全て。

人の身体が卑しいものとされ人前で語ることがタブー視された中世の束縛から解放されたルネサンス期のイタリアでは、人の身体について公の場で論じることが盛んとなりました。それとともに、旧来の女性像とはまったく異なる多様で豊かな女性観が発達し、巨匠たちが描く女性像にも大きな影響を及ぼしました。その結果、イタリア・ルネサンスは「女性の時代」と称されるほどに、さまざまな女性像であふれています。

本書は、レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロ、ボッティチェリ、ラファエロ、ティツィアーノらイタリア・ルネサンスの巨匠たちが追い求めた「理想の美女」の全貌を、数多くの大判で美しい図版で紹介する画集です。

また、平易な文章で社会的・美術史的・文化的な背景を掘り下げたテキストと詳細な作品解説によって、ルネサンス絵画の魅力と本質を、一般の読者にも面白くわかりやすく読み解いています。



『ART GALLERY テーマで見る世界の名画 1 ヴィーナス—豊饒なる美の女神』（青柳正規／監修 木島俊介／監修 中野京子／監修 集英社 2017年） 中央図書館ほか所蔵

ボッティチェリからルノワールに至るまで、連続と描かれ続けてきた愛と美の女神ヴィーナスの系譜を新たな視点で探る。

『ART GALLERY』は10巻まで発行されています。



『世界の巨匠シリーズ』（美術出版社） 中央図書館ほか所蔵

ミケランジェロ、ロートレック、ルノワール、ゴーガン、レンブラント、セザンヌ、モネ、マネ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ダリ、ピカソ、ドガ、ムンク、ゴヤ、……。世界の美術史に燦然と名前が輝く『巨匠』たちの作品が作者ごとにまとめられています。



『西洋絵画作品名辞典』（木村三郎/[ほか]編集 三省堂 1994年） 中央図書館ほか所蔵

ルネサンス期から現代まで画家630人、作品3万点余を収録した初の西洋絵画データベース。画家は50音順、作品は主題別・制作年代順など画家の個性に応じた分類・配列、多面的な読解が可能なデータと解説を付ける。

(3) 芸術家について知る

その美術作品を作った人はどのような人物だったのか？ また、他にはどのような作品を作っているのかという情報を知りたい場合には、芸術家について索引のある資料を用いて調べるとよいでしょう。



『西洋人物レファレンス事典 美術篇』（日外アソシエート株式会社/編集 日外アソシエート 2012年） 中央図書館ほか所蔵

西洋美術分野の人物がどの事典にどんな見出しで掲載されているかがわかる。画家・彫刻家・建築家・工芸家・デザイナー・写真家などの美術家、神話・聖書など美術に描かれた人物、美術に関わりのある国王・作家など11679人を収録。151種359冊の事典を収録。各事典での人名表記、生没年を示した。巻末に人名五十音順から引ける「カタカナ表記索引」付き。



『画家事典 西洋絵画編（玄光社MOOK） 106人の巨匠から西洋美術史を読み解く』（田辺幹之助/監修 玄光社 2014年） 中央図書館ほか所蔵

名画を描いた画家の背景を知ることで、作品の核心に近づくことができます。西洋美術史に登場する主要な画家106人を厳選し、その美術史的な評価、作風、経歴、作品などをわかりやすく紹介します。



『大人の雑学西洋画家事典 人柄がわかるエピソードで楽しく読める!』（らちまゆみ/著 ワニブックス 2022年） 大宮図書館ほか所蔵

ルネサンスから20世紀現代アートまで。西洋画家たちの素顔を代表作とともに徹底解剖。学校では教えてくれないエピソードを、彼らが活躍した時代背景とともに詳しく紹介。webラジオ『そんない美術の時間』を書籍化。

2 雑誌を調べる



『芸術新潮』（新潮社） 中央図書館ほか所蔵

「暮らし」はアートであるをキャッチフレーズにあらゆる事象を「芸術」という観点から検証し、表現する「芸術新潮」。1950年に創刊され、歴史と文化を見続けてきたハイクオリティなアートマガジン。歴史的な芸術作品から、建築、古美術、現代アートまで、あらゆる「美しきもの」を独自の切り口で紹介しています。



『Zephyros』（<https://www.nmwa.go.jp/jp/research/publication.html#zephyros>）
ゼフィロス 国立西洋美術館ニュース



1997年に創刊されました。刊行頻度は年3回です。国立西洋美術館のホームページから閲覧できます。

3 インターネット・データベースを調べる



《西洋絵画美術館》 (<https://artmuseum.jp/> 西洋絵画美術館)

ルネサンス以前、ルネサンス、バロック、ロココ、新古典主義、ロマン主義・写実、印象主義、20世紀絵画についてのインターネット美術館。世界の有名な美術館に所蔵されている名画が鑑賞できます。



《国立西洋美術館所蔵作品データベース》 (<https://www.nmwa.go.jp/jp/> 国立西洋美術館)

常設展、コレクション・イン・フォーカス、作品紹介、開催中の展覧会、今後の展覧会予定、過去の展覧会の紹介が載っています。



《Vatican Museum-Official Website》

(<https://m.museivaticani.va/content/museivaticani-mobile/en.html>

ヴァチカン美術館)

イタリア・ローマのヴァチカン美術館所蔵の美術品、絵画が鑑賞できるホームページです。



《LOUVRE》 (<https://www.louvre.fr/en> ルーブル美術館)

フランス・パリのルーブル美術館のホームページです。日本語で検索ができます。モナリザ、ミロのヴィーナスなども鑑賞できます。



《ART CYCLOPEDIA》 (<http://www.artcyclopedia.com/> アートサイクロペディア)

美術館や博物館によってオンラインで公開されている作品が検索できる。画家名、作品名、所属機関名から探せます。



《Google Arts & Culture》 (<https://artsandculture.google.com/> グーグル・アーツ・アンド・カルチャー)

グーグルが提供する美術絵画の検索サイトです。西洋美術だけでなく、世界中の芸術作品を鑑賞することができます。AI機能を使ったプレイも楽しめます。



《BeWeB》 (<https://beweb.chiesacattolica.it/> Ufficio Nazionale per i beni culturali ecclesiastici e l'edilizia di culto)

イタリアの協会が所蔵する芸術作品を収録。画家名、作品名にくわえ、主題、年代、教会名から検索できます。上部の「Benistorici e artistici」から検索画面が開きます（日本語検索可能です）。



《ジャパナレッジ》 (<https://japanknowledge.com/> JapanKnowledge)

70種類以上の辞事典、年鑑、叢書などを一括検索で調べることができます。※導入館でIDを共有しているため、他館で利用している間は利用できません。



編集・発行

さいたま市立中央図書館 令和6年3月

さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 さいたま市浦和区東高砂町1-1-1

電話048-871-2100 FAX048-884-5500

